

科 目 名	生活と環境
単 位	2
教 員 名	デュアー 貴子
授 業 概 要	地球という閉じられた自然環境の中で、ヒトは他の生命体と共にその恵みを受けて生活している。近年、産業や人の活動が飛躍的発展し、それに伴う地球環境の破壊が問題となっており、私たちの日々の暮らしも影響を受けている。本授業は、生態系や生活環境の保全が人の健康維持に重要なファクターであることを理解し、環境測定・毒物分析に関する知識を深めるとともに、環境に配慮する態度を身につけることである。
授業の目的・到達目標	<p>授業の目的:生態系における人の位置づけ、人の健康に影響を及ぼす環境因子や環境破壊の実態、環境衛生に関する試験法等について、現状と問題点を把握する。</p> <p>到達目標:自らの生活の場で、環境、安全、健康および福祉に配慮した行動ができるようになる。各自のライフスタイルが地球に及ぼす影響と問題点、その問題を解決するためのライフスタイルの見直しを自らの言葉で表現し行動に移すことができるようになること、すなわち、環境に配慮できる消費者になる、行動する非喫煙者になる、等を生活の中で実践できるようになることを目標とする。</p> <p>環境社会検定(eco 検定)取得に挑戦しよう。</p>
授 業 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の環境問題の歴史Ⅰ (公害問題)</li> <li>2. 日本の環境問題の歴史Ⅱ (放射能汚染)</li> <li>3. 地球規模の環境問題Ⅰ (地球温暖化)</li> <li>4. 地球規模の環境問題Ⅱ (水質汚染)</li> <li>5. 地球規模の環境問題Ⅲ (大気汚染)</li> <li>6. 地球規模の環境問題Ⅳ (世界の環境問題と対策)</li> <li>7. 持続可能な社会に向けてⅠ (ゼロエミッションの推進)</li> <li>8. 持続可能な社会に向けてⅡ (日本の対策)</li> <li>9. 持続可能な社会に向けてⅢ (世界の対策)</li> <li>10. 環境と経済・社会</li> <li>11. 私たちの暮らしと環境Ⅰ (新しい技術)</li> <li>12. 私たちの暮らしと環境Ⅱ (一人ひとりが取り組むこと)</li> <li>13. 環境と共生するためにⅠ (世界の取り組み)</li> <li>14. 環境と共生するためにⅡ (MOTTAINAI 運動)</li> <li>15. まとめ</li> </ol>
予 習・復 習	環境関係のニュースや新聞記事に興味関心をもち、よく理解すること。
成績評価の基準	レポート(70点), 平常点等(30点)
教 科 書	プリントを配布する
参 考 書	「eco 検定 集中テキスト&問題集」藤倉良 (監修) , ナツメ社 (2012/09)
備 考・その他	なし

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

東海学院大学「生活と環境」の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	生活と環境
時間割	毎週月曜日 2時限目 11時00分開始 12時30分終了
初回の授業日	2018年 10月1日(月)
講義室	講義開始前に教務課(東キャンパス本館1階または西キャンパス1号館1階)にてお尋ねください。
注意事項	自動車・原付・自動二輪で通学する際は届出を行ってください。(自動車の場合は、届出の際に任意保険の写しが必要です。) その他、本学の学内規程に準じてください。
授業についての 問合せ	東海学院大学 教学部教務課 Tel: 058-389-2200
交通アクセス	下記リンクを参照してください。 <a href="http://www.tokaigakuin-u.ac.jp/access/">http://www.tokaigakuin-u.ac.jp/access/</a>